

文学部の基礎

「文学部の基礎」は、文学部 13 専攻の学びがそれぞれどのようなものかを知ることと、それ以外の学生が、自分の所属する専攻分野に留まらない幅広い学問的視野を持つことを目的として開講されている授業です。年度毎の共通テーマの下、各専攻の教員が 1 回ずつ、コーディネーターの教員とともにオムニバス授業を行います。共通テーマに関して多様な角度から学ぶことで、文学部の学問的な方法に対する理解を深めることが期待されます。

2021 年度/2022 年度のテーマは「病気・災害と社会」、2023 年度のテーマは「ゲーム・遊び」でした。

【2022 年度「病気・災害と社会」 授業内容】

- 第 1 回 イン트로ダクション (コーディネーター)
- 第 2 回 「江戸の大変と情報」(国文学専攻)
- 第 3 回 「生き延びるための文学と感染症—イギリス文学の場合」(英語文学文化専攻)
- 第 4 回 「細菌学と人種主義—戦前ドイツの結核をめぐる議論から」
(ドイツ語文学文化専攻)
- 第 5 回 「文明災とどのように向き合うか?—西洋思想から災害と疫病を考える」
(フランス語文学文化専攻)
- 第 6 回 「武漢の都市封鎖と作家の社会的役割」(中国言語文化専攻)
- 第 7 回 「水資源と水害の歴史学—日本列島における自然と人との関わり—」
(日本史学専攻)
- 第 8 回 「災害と病気の関係史」(東洋史学専攻)
- 第 9 回 「西洋近現代における病気と社会」(西洋史学専攻)
- 第 10 回 「災害と科学・技術のあり方—VUCA な時代の科学哲学」(哲学専攻)
- 第 11 回 「私たちの社会で病いや障害をもって生きるということ」(社会学専攻)
- 第 12 回 「情報の伝達とその信憑性」(社会情報学専攻)
- 第 13 回 「病気・衛生問題への対応からみる学校観の変遷」(教育学専攻)
- 第 14 回 「災害後の心理支援」(心理学専攻)

【2023 年度「ゲーム・遊び」 授業内容】

- 第 1 回 イン트로ダクション (コーディネーター)
- 第 2 回 「江戸のあそび」(国文学専攻)
- 第 3 回 「シュルレアリスムにおける詩的言語ゲーム—ことばの力とイノベーション」
(フランス語文学文化専攻)
- 第 4 回 「ことば・社会・遊び」(英語文学文化専攻)
- 第 5 回 「Sprachspiel/ことばあそび」(ドイツ語文学文化専攻)

- 第6回「ゲームとeスポーツから見る中国社会」(中国言語文化専攻)
- 第7回「明治期の玩具にみる時代像」(日本史学専攻)
- 第8回「イスラーム写本にみる人々の余暇」(東洋史学専攻)
- 第9回「西洋近現代史のなかの娯楽」(西洋史学専攻)
- 第10回「言語遊戯としてのパロディー」(哲学専攻)
- 第11回「日本の若者の恋愛離れ」(社会学専攻)
- 第12回「ゲーム・遊びとリアリティー二項対立から多項対立のリアリティーへ」
(社会情報学専攻)
- 第13回「子どもと遊び」(教育学専攻)
- 第14回「ゲームと遊びと心理」(心理学専攻)

【写真】

第7回「西洋近現代史のなかの娯楽」で登場した玩具の一部



- ▲「軍人合わせ」ルール：二人であそぶ。いっせいのせ、
で互いに見せ合った方が負けた者の札を取る。
合計点数が高い方のかち。階級が上の方が強い。



▲「メンコ」伊太利『東洋ニ商業ヲヒロメテヤルワイ』